

役員候補者選考方法等に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本ボクシング連盟（以下「日連」という。）の定款第 27条に基づく役員（理事、監事）の選任にあたり、役員候補者を選考する諸手続きについて定める。

(役員候補者選考委員会の設置及び任務)

第2条 日連は、前条の目的を達成するため、役員候補者選考委員会（以下、「選考委員会」という。）を設置する。

2. 選考委員会は、日連の理事、監事の選任の候補者を選考することを任務とする。
3. 選考委員会は、役員を選任する総会の開催に先立ち設置する。
4. 委員は5名とし、正会員から1名、監事1名、有識者から3名を選任する。ただし、5名のうち少なくとも1名は女性とする。
5. 委員はコンプライアンス委員会で審議し理事会の承認を得て、会長が委嘱する。
6. 委員の任期は、役員を選任する総会の終結の時までとする。
7. 委員の互選で委員長1名を置く。

(選考の基準)

第3条 役員候補者を選考するために選考委員会を開催し、以下の基準に従い、役員の候補者を選考する。

- (1) 役員の員数は、定款の定めによる。
- (2) 理事には、日連アスリート委員会の代表者を含むものとする。
- (3) 役員は選任時において、役員を選任、定年及び任期に関する規則第4条に定めにより、その年齢が65歳未満でなければならない。
- (4) 理事の再任は妨げない。しかしながら、「役員を選任。定年及び任期に関する規則第5条」に定めるように、連続した任期は5期（10年）までとする。10年を超える人気に関する例外に関しては、ガバナンスコードに定めるように扱う（IFの役員を行っている場合など）。また、それは役員候補者選考委員会において、客観的に判断される必要がある。

(理事候補者の資質)

第4条 理事候補者として、本会の目的を理解し、その達成に向け尽力するに十分な識見と能力を満たし、以下の各号のいずれかに該当すると判断された者を選考する。また、別紙1の日連の業務内容と組織図を理解し担当業務を遂行できる者を選考することとする。

- (1) スポーツ団体の運営に精通している。
- (2) 強化育成に関する高い知識を有している。
- (3) アスリートとしての経験を有し、アスリートの視点で意見を述べることができる。
- (4) 国内外のスポーツ界の動向に精通している。
- (5) スポーツ医科学及びアンチ・ドーピングに関する高い知識を有している。
- (6) コンプライアンス、ガバナンスに関する高い知識を有している。
- (7) 財務、法務、広報又はマーケティングに関する高い知識を有している。
- (8) 中長期の施策に関する企画・発想力及び推進力を有している。

(監事候補者の資質)

第5条 監事候補者として、本会の業務運営に一定の知見を有し、法令に違反しないよう監査できる能力を備え、以下の各号のいずれかに該当すると判断された者を選考する。

- (1) 業務監査能力を備えている。
- (2) 会計業務に一定の知見を有し、計算書類の監査能力を備えている。
- (3) 関係法令に一定の知見を有し、理事の職務の執行等が法令に違反しないよう監視できる能力を備えている。

(役員候補者の推薦)

第6条 各加盟団体は、別紙2の「役員候補者推薦書」により、役員候補者を推薦することができる。

(理事会への答申)

第7条 選考委員会は、選考した役員候補者を理事会へ提案する。

(留意事項)

第8条 役員候補者を選考するに当たっては、次の事項に留意する。

- (1) ブライトン・プラス・ヘルシンキ2014宣言を尊重し、女性理事の割合が40%となることを目標とする。
- (2) 第4条各号又は第5条各号に規定する資質の多様性に配慮する。
- (3) 本会と役員候補者との利益相反を考慮し、慎重を期する。
- (4) 外部理事の割合が25%となることを目標とする。なお、外部理事とは、以下の者を除いた者をいう。
 - ・ 最初の就任時点で、直近4年間に本会の役職員又は社員であった者。
 - ・ 本会の加盟団体の役職者である者、本会の役員又は幹部職員の4親等以内の親族である者。ただし、選考委員会により、法務、会計、ビジネス等の専門的知見による貢献を期待して推薦され選任された場合には、外部理事とみなすことができる。
- (5) 本会の中長期計画等を尊重する。

(本規程の変更)

第9条 この規程は、理事会の決議により変更することができる。

附則

1. この規程は、令和4年2月20日から施行する。
2. この規程は、令和4年4月17日から施行する。
3. この規定は、令和6年6月5日から施行する。

日本ボクシング連盟の業務内容と組織図

※公益法人会計基準の別り事業費領域と管理費領域の区分により業務内容を整理・統合

- 専門部・専門委員会
- 事務局・専務理事
- 担当理事・その他役員
- 加盟団体の正会員等

アスリートファーストの実現

事業費 領域=日本ボクシング連盟の公益目的支出事業

全国大会（競技会）運営事業

運営全般をマネジメントする業務

総務委員会

①アスリート担当理事

競技会を成立させるための業務

組み合わせ抽選や公正な審判及び判定

審判部

②競技会運営担当理事

施設や競技の安全管理

医事委員会

③競技ルール担当理事

アンチ・ドーピング委員会

④競技の医事担当理事

選手強化事業

日本を代表する選手やスタッフを選任する業務、日本代表選手を強化する業務

強化委員会

⑤強化事業マネジメント担当理事

スポーツ科学委員会（NTサポート）

管理費 領域=経営資源を最適化する業務

ヒト資源最適化の業務

会議体適正運営業務

加盟団体への支援・情報提供

ブロック協議委員会

⑥専務理事

プロ競技団体との交流

プロアマ交流委員会

⑦ローカルとナショナルの調整担当理事

⑧プロアマ交流担当理事

経営企画・経営管理・海外渉外業務

事務局

※プロ側との人事交流案

⑨専務理事

人材育成、教育・啓発・法務業務

指導者育成委員会

⑩企画・経営担当理事

⑪人材担当理事

⑫海外渉外担当理事

コンプライアンス委員会

⑬指導者育成担当理事

倫理委員会

⑭法務・教育担当理事

モノ・カネ・情報資源の最適化業務

マーケティング（競技の価値や魅力をプロモートし自主財源を増加させる業務）

する者を増やす業務

普及委員会

⑮普及担当理事

みる者を増やす業務

広報戦略委員会

⑯広報・マーケティング担当理事

予算決算・出納経理・財務会計・助成金業務、ICT活用、情報管理等

事務局

⑰専務理事

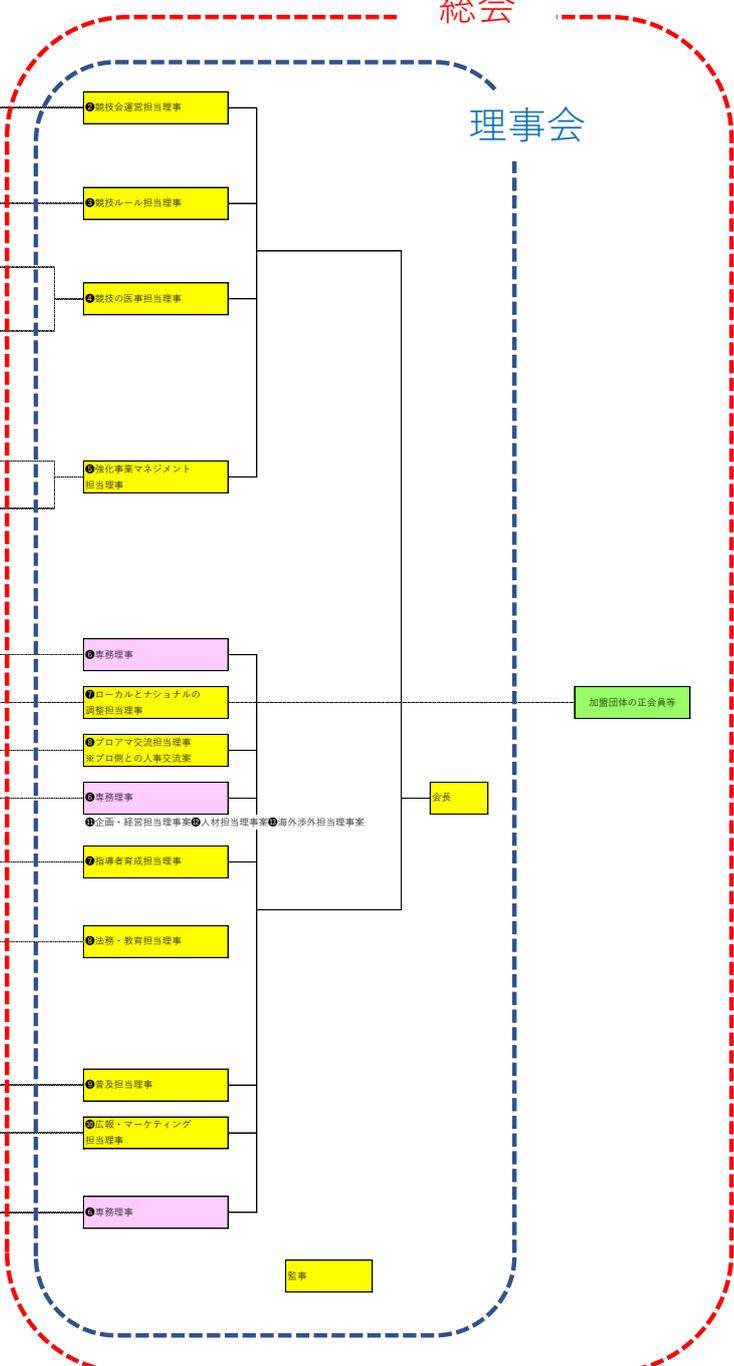
総会

理事会

会長

加盟団体の正会員等

監事



役員候補者推薦書

提出日 年 月 日

日本ボクシング連盟

役員候補者選考委員会 委員長 宛

推薦団体名	
記載責任者（役職と氏名）	

下記の者を役員候補者として推薦いたします。

ふりがな		生年月日	(歳)
氏名		携帯番号	- -
		e-mailアドレス	
現住所	〒 -		
	電話番号	-	-
勤務先	名称	勤務先での役職	
	住所	〒 -	
現時点での 日連との関係性	所属の地方連盟及び役職		
	日連内の役職（役員や専門委員会）		
	保有する日連の資格（セカンドや審判等）		
推薦理由	1) 適合資質要件（第4条・第5条記載の資質要件に関する適合項目を記載してください）		
	2) 適合資質で主に強みを発揮できる部分（別紙1【日連の業務内容と組織図】を参考に）		
	3) 具体的な適合性の説明（用紙が不足する場合には、別資料添付をしてください）		

役員候補者推薦書

学 歴 ・ 職 歴		行が足りなければ本Excelシートを挿入して増やしてください。
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
資格・免許等		行が足りなければ本Excelシートを挿入して増やしてください。
	年 月	
	年 月	
	年 月	
スポーツ歴		
その他特記事項		